

# 令和5年度 地学基礎 シラバス

対象教科・科目	単位数	学年・学級
地学基礎	2	2年文系、特進文系
使用教科書	高等学校 地学基礎(啓林館)	
使用副教材	センサー地学基礎(啓林館)	

学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付け、科学的に探究する力を養う。また、地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。
------	--

学期	月	単元名		指導事項(実験・実習)	テスト範囲予定	
1	4	第1部	第1章 地球(6)	第1節 地球の概観	A 固体地球の表面/B 地球の形 (探究実習1 地球の形と大きさ、やってみよう 地球の形と自転について調べる)	1学期中間
				第2節 地球の内部構造	A 地殻とマントル/B 核	
	5	固体地球とその活動	第2章 活動する地球(16)	第1節 プレートテクトニクスと地球の活動	A プレート/B プレート境界と地球の活動/C プレートの動き/D 大地に記録されたプレート運動 (実習1-2 プレートと地球の活動の関係を調べる)	1学期期末
				第2節 地震	A 地震の分布/B 地震の発生と断層/C マグニチュードと震度/D 地震波からわかること (実習1-3 震源の決定)	
				第3節 火山活動と火成岩の形成	A マグマと火山の噴火/B 火山の分布/C 噴火の様式/D 火山噴出物/E 火成岩の産状と組織/F 鉱物/G 火成岩の分類 (やってみよう 火成岩の組織を観察しよう)	
	6	第2部	第1章 大気圏の構造(5)	第1節 大気圏	A 大気組成/B 気圧と気温/C 大気圏の構造 (探究実習2 高度と気圧・気温の関係、やってみよう 高温のものが上にあると対流は起こりにくい)	1学期期末
				第2節 水と気象	A 大気中の水蒸気/B 雲の発生 (やってみよう ペットボトルで雲をつくる)	
	7	第2部	第2章 太陽放射と大気・海水の運動(8)	第1節 地球のエネルギー収支	A 太陽放射エネルギー/B 地球のエネルギー収支 (やってみよう 太陽放射の中の赤外線)	2学期中間
	第2節 大気の大循環			A 緯度による放射・吸収の違い/B 熱の輸送/C 風の吹き方/D 大気の大循環 (やってみよう 地表が受ける太陽放射エネルギー量の緯度による違い 探究実習3 緯度別に見る地球のエネルギー収支)		
	第3節 海水の循環			A 海水/B 海洋の層構造/C 海流/D 深層の流れ/E 海洋と気候 (やってみよう 水の上下運動を観察しよう)		
2	9	第2部	第3章 日本の天気(3)	第1節 日本の位置	A 偏西風の影響/B 大陸と海の影響	2学期中間
				第2節 冬から春の天気	A 冬の天気/B 春の天気 (やってみよう 高気圧と低気圧の移動速度)	
				第3節 夏から秋の天気	A 梅雨/B 夏の天気/C 台風/D 秋の天気	
			第1章 地球の誕生	第1節 宇宙の誕生	A 宇宙のはじまり/B 太陽の誕生	

2	11	第3部 移り変わる地球	地球の誕生 (6)	第2節 太陽系の誕生	A 太陽系の誕生/B 惑星の特徴/C 生命を 生み出す環境	2学期期末	
			第2章 地球と生命の 進化(8)	第1節 先カンブリア時 代	A 冥王代-地球の誕生-/B 太古代-生命の 誕生-/C 原生代-多細胞生物の出現-		
				第2節 顕生代	A 古生代-生物の多様化と上陸-/B 中生 代-陸上生物の多様化と発展-/C 新生代- 哺乳類の時代-/D 地球環境と生命の進化 /E 地質年代の区分 (探究実習4 地球環 境の変化と生物の活動の関係)		
	12		第3章 地球史の読み 方(8)	第1節 地層からわかる こと			
				第2節 地層の形成	A 碎屑物の形成/B 流水のはたらき/C 堆 積構造/D 堆積岩とその分類 (やってみ よう 級化構造をつくる、やってみよう 堆積岩を観察しよう)		
				第3節 地層の読み方	A 過去の地殻変動/B 化石/C 地層の対比 (やってみよう 化石を観察しよう やってみよう 地層中の記録を調べよ う、実習3-1 地層の観察)		
3	1	第4部 自然との共 生	第1節 地球環境と人類	A 地球環境の変化の時間・空間スケール /B 自然の恩恵	学年末		
	2		第2節 地震災害・火山 災害	A 地震と災害/B 火山と災害			
			第3節 気象災害	A 大雨による災害/B 突風による災害/C 地域や季節に特有の気象災害			
			第4節 災害と社会	A 地震の観測と対策/B 火山の観測と対 策/C 気象の観測と対策/D 防災・減災へ の取り組み (探究実習5 地域の災害対 策)			
			第5節 人間生活と地球 環境の変化	A 地球規模の環境の変化/B 地域的な環 境の変化 (探究実習6 地球規模の気温変 動)			
3							

評価の観点・方 法	<p>●下記の(1)~(5)の項目を、評価の観点別(知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)に評価します。各学期の成績はそれらの評価から総合的に判断します。</p> <p>(1)授業への取り組み 授業に対する姿勢、学習態度、地学への関心等で判断する。評価の観点のうち、特に主体的に学習に取り組む態度の項目を評価する。</p> <p>(2)ノートの記載内容 授業内容を適切にまとめているか、科学的な思考ができていかなどを評価する。</p> <p>(3)観察・実験等 観察・実験等を行い、レポートを書く。観察・実験に対する姿勢、予想や考察、器具の操作、報告書などから評価する。評価の観点のうち、知識・技能、思考・判断・表現に関する配分が大きい。</p> <p>(4)教科書・問題集の問題 各問題への取り組み、取り組んだ内容から評価する。</p> <p>(5)中間・定期考査 学習内容に合わせて問題を出題する。評価の観点のうち、知識・技能、思考・判断・表現に関する配分がもっとも大きい。</p>
学習のアドバイ ス等	<p>1 日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち、そのしくみについて考える態度をもつこと。</p> <p>2 疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもつこと。</p> <p>3 学んだことを正確に記録する方法と態度を身につけること。</p>
留意事項	・実験・実習の内容によっては、予定していた資料の取り扱いが変わることがあります。